

週間漁海況情報 2021年第9号

令和3年3月2日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

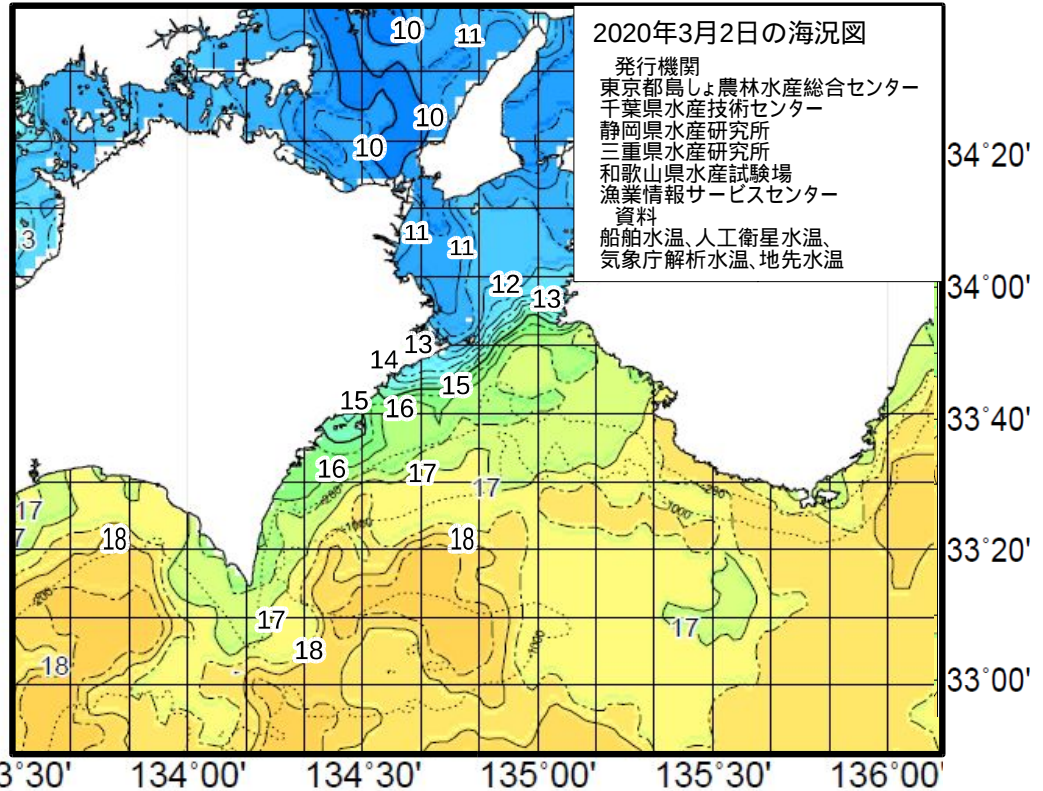
海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖58マイル、潮岬沖87マイルを流れ、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」となっている。

黒潮からの暖水の波及は弱まり、紀伊水道から海部沿岸に12～14 台の内海水が南下している。

黒潮の表面水温は19～20 台。徳島周辺海域の水温は、播磨灘は9～10 台、紀伊水道は10～11 台、海部沿岸は12～16 台となった。



黒潮の離接岸の表現

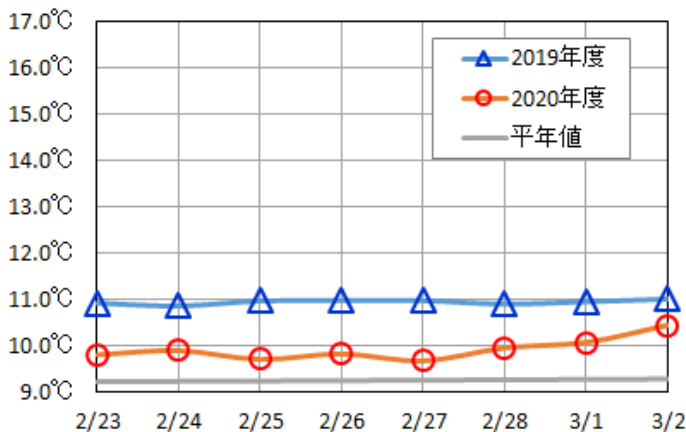
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

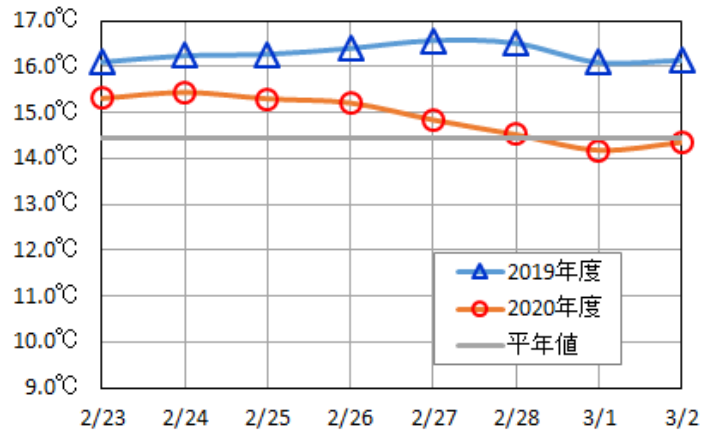
2. 地先水温 (2021年2月23日～3月2日)

鳴門地区の水温は気温の影響を受け「平年並み」からの「やや高め」、9.7～10.4 で推移した。日和佐地区の水温は内海水の南下の影響により「平年並み」の14.2～15.4 で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は3.9～5.6 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み：平年値±0.5 未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5 以上1.5 未満
高め/低め：平年値±1.5 以上2.5 未満、かなり高め/かなり低め：±2.5 以上
平年値 1984年～2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (3月3日～3月9日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しい離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 2021年2月22日～2月28日

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

延縄では、タチウオが大きく増えて特大主体に3.1ト、ブリが大きく増えてめじろ級主体に1.3ト、マサバが大きく増えて大主体に0.4ト水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく減って0.6ト水揚げされた。

底びき網では、コウイカが増えて大主体に1.6ト、ホウボウが0.3ト、いとより類が大きく増えて小主体に0.3ト、さめ類が大きく増えて0.2ト、マダイが大きく減って大主体に0.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが増えて2.3ト水揚げされた。

建網では、ヒラメが0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、カタクチイワシが大きく増えて小主体に0.7ト、マルアジが大きく減って小主体に0.3ト水揚げされた。

大型定置網では、マアジが大きく減って小主体に1ト、ブリが大きく減って0.6ト、マルアジが大きく増えて小主体に0.4ト、サワラが大主体に0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	64	タチウオ	3,131	49	特大主体	
		48	ブリ	1,267	26	めじろ級主体	
		52	マサバ	379	7	大主体	
	小型定置網	11	ブリ	617	56		
	底びき網	31	コウイカ	1,625	52	大主体	
		30	ホウボウ	337	11		
		26	いとより類	293	11	小主体	
		14	さめ類	226	16		
		23	マダイ	214	9	大主体	
海部沿岸	釣り	36	タチウオ	2,322	64		
	建網	21	ヒラメ	288	14		
	小型定置網	11	カタクチイワシ	747	68	小主体	
		11	マルアジ	272	25	小主体	
	大型定置網	5	マアジ	956	191	小主体	
			ブリ	621	124		
			マルアジ	392	78	小主体	
			サワラ	210	42	大主体	

前週比 200%以上： 120-200%： 80-120%： 50-80%： 50%未満：